



知っているようで  
実は知らない…



## 今どきの時事ニュース

映画好きにとって“5月はカンヌの季節”とも言えるのではないのでしょうか？ そこで今回は、毎月開催される『カンヌ国際映画祭』のお話をお届けします！

『カンヌ国際映画祭』は、今から65年前の1946年（昭和21）からフランス政府が開催を始めました。以来、毎年5月にフランス南東部にある地中海に面した都市“カンヌ”で行なわれる“世界で最も有名な映画祭”となっています。

ドイツで行われる「ベルリン国際映画祭」、イタリアで行われる「ヴェネツィア国際映画祭」と併せ、“世界三大映画祭”の1つとしても知られています。

映画祭では、最高賞の「パルム・ドール」や「監督賞」「男優賞」「女優賞」などを選出する受賞式のほかに、『マーケット』と呼ばれる国際的な見本市が開かれることでも有名です。このマーケットには数百社、数千人の映画製作者・俳優などが押し寄せ、世界各国から集まった「映画配給会社」に新作映画を売り込む場にもなっています。このように「映画祭」と「マーケット」が同時に開催されるのはこの映画祭だけであるため、世界中のマスメディアから注目が集まり、毎回全世界から数多くの俳優、映画製作者が出席します。

## こくさいえいがさい カンヌ国際映画祭

それでは、これまでの日本人受賞者と受賞作品をご紹介します！

### パルム・ドール（最高賞）

- 衣笠貞之助『地獄門』（1954年）
- 黒澤 明『影武者』（1980年）
- 今村 昌平『楳丘節考』（1983年）  
『うなぎ』（1997年）

### 審査員特別グランプリ

- 小栗 康平『死の棘』（1990年）
- 河瀬 直美『穢の森』（2007年）

### 審査員賞

- 市川 崑『亂』（1960年）
- 小林 正樹『切腹』（1963年）  
『怪談』（1965年）
- 勅使河原宏『砂の女』（1964年）
- 三國連太郎『親鸞 白い道』（1987年）

### 監督賞

- 大島 渚『愛の亡霊』（1978年）

### 男優賞

- 榎本 健一『誰も知らない』（2004年）

### 新人監督賞

- 河瀬 直美『萌の朱雀』（1997年）

### 撮影最高賞

- 杉山 公平『源氏物語』（1952年）



が選ばれています。

今年は**5月11日～22日**まで開催されます。今年2月に行われたアメリカの「アカデミー賞」受賞作品のみならず、カンヌに出品された作品もぜひ楽しんでみてください。

## 体のツボを



人間の体にある「ツボの数」は、正式に認定されたものだけでも“361個”ありますが、それ以外にも人間の体には“1000個以上”のツボがあるといわれています。そこでこのコーナーでは、「人間の体にはどこにどんなツボがあるのか」をイラストを使ってわかりやすくご紹介していきます！ぜひ、“ツボさがし”や“ツボの勉強”にお役立て下さい。



## しょうよう 商陽

東洋医学では、「商」は“肺の機能に関係がある”ことを意味しています。また、手の甲は「陽」、手のひらは「陰」とされることから、「陽」の字がつく商陽は“手の甲側にあるツボ”という意味もあります。



### ツボの見つけ方

人差し指の爪の生え際で、親指側にあるツボです。

### 効果・効能

商陽は“みぞおちの重苦しさ”や“下痢”の症状に効果があります。特に風邪をひいた時の発熱に伴う下痢には効果を発揮します。その他にも、せき、たん、口の乾き、耳鳴り、難聴、疲れ目、視力低下、歯の痛み、胸の苦しさに効果があります。